

第7章 居住・住宅状況の推移

- * あいりん地域では日雇労働者の宿泊という生活空間として簡易宿所が高密度に建ち並んでいる。昨今では、日雇労働者の減少、高齢化、あるいは生活保護受給者の増加などに伴い、簡易宿所を共同住宅（アパート）へと転用する傾向が加速している。
- * 日雇労働者中心から、生活保護受給者だけでなく、年金生活者、生活保護・年金併用者、旅行者、新しいタイプの非正規雇用労働者など多様な利用者が存在する。
- * あいりん地域全体が、簡易宿所転用アパートをはじめアパート併用の簡易宿所、木造賃貸住宅などの住宅ストックと、地域に点在する生活支援を提供するNPOや民間組織などの社会資源が組み合わされ、地域全体として支援付きの住宅の集中する街へと変容しつつある。
- * 入居させるだけの大家ではなく、地域生活のアドバイザーとしての大家が実質的に現れつつある。また、現れざるを得ない状況となっている。大家主体の居住サポートの仕組みづくりとともに、それらを支える相談窓口や情報提供の体制づくりも進める必要がある。
- * 大家・入居者・専門家等がネットワークし、住宅管理の共同化や、居住者の管理への参加・協働の仕組みづくりを模索せねばならない。

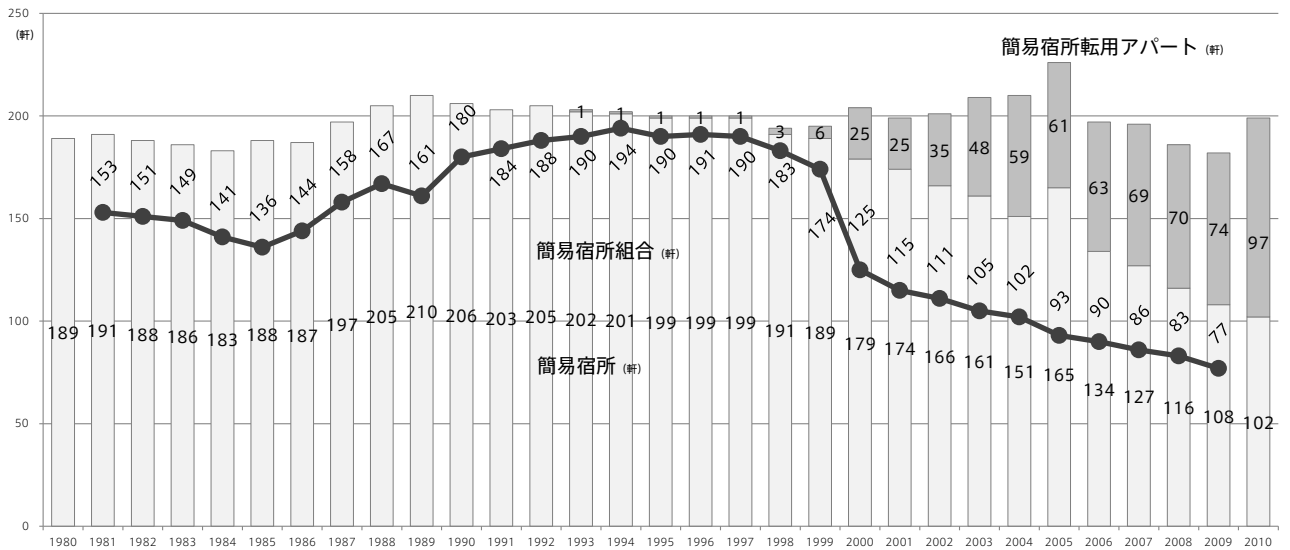


図 7-1-1 簡易宿所、簡易宿所転用アパートなどの推移

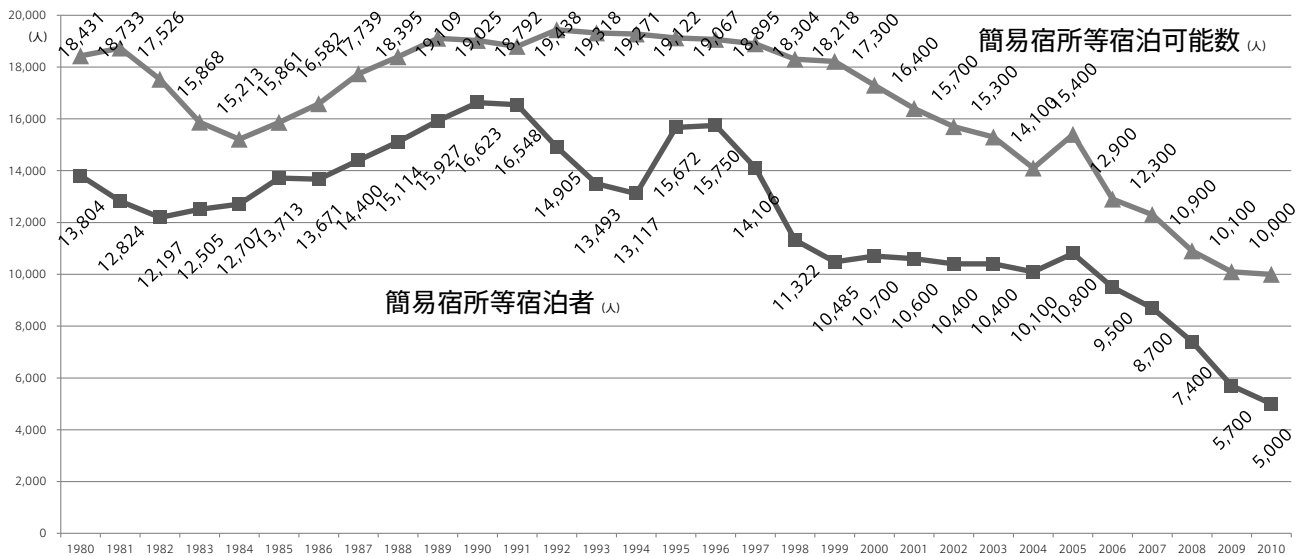


図 7-1-2 簡易宿所の宿泊可能数、宿泊者の推移

※簡易宿所転用アパートには、簡易宿所と共同住宅を同一建物内で併せ持つアパート併用簡易宿所のも含む。
資料：大阪府簡易宿所生活衛生同業組合資料より作成



図 7-1-3 簡易宿所、簡易宿所・アパート併用、および簡易宿所転用アパートの分布

資料：調査検討チームの 2010 年夏の現地調査より作成

表 7-1-4 簡易宿所、アパート併用簡易宿所、簡易宿所転用アパートの割合
2010 年調査より推計

		利用者形態			
		労働者	生保	年金	旅行者、その他
営業形態	アパート	298	1,734	335	3
	簡宿	914	0	94	323
	併用	245	181	54	61
	合計	1,457	1,915	483	387

資料：調査検討チームの 2010 年夏の現地調査より作成



図 7-1-5 ある簡易宿転用アパートの間取り

資料：調査検討チームの2010年夏の現地調査より作成

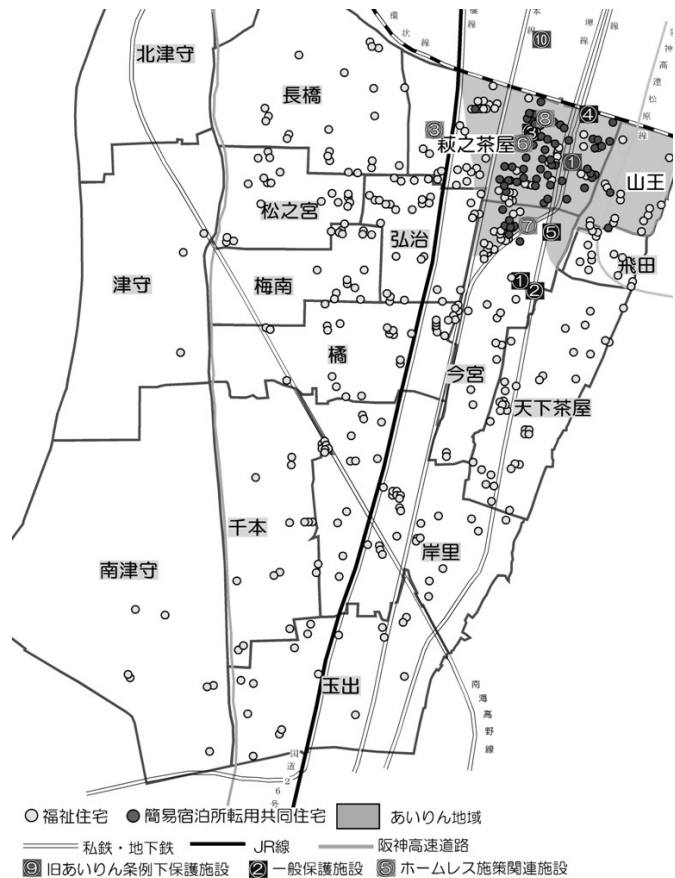


図 7-2-1 福祉アパート分布 生活保護 10 世帯以上の
アパートの分布 2006 年

資料：「西成区生活保護実態調査」
(西成保健福祉センター・大阪就労福祉居住問題調査研究会)、2006 年